

令和2年度（2020年度）第3回「柏崎市男女共同参画審議会」議事録(概要)

日 時 令和2年（2020年）11月13日（金）9：30～11：45
会 場 柏崎市役所本館 第1会議室
出席委員 阿部委員、新野委員、板羽委員、上野委員、岡田委員、海津委員、木下委員、
杉山委員、高橋委員、長澤委員、西巻委員 11人
(欠席：片山委員)
事 務 局 人権啓発・男女共同参画室
総合企画部長 石黒、室長 伊部、主幹 宮崎、係長 大橋、主任 真貝
概 要 次期男女共同参画基本計画素案の検討

1 開 会

2 総合企画部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

(1) 次期男女共同参画基本計画（素案）について

(事務局から「次期男女共同参画基本計画（素案）」について説明)

A委員 43ページの「DVだと思うか」のグラフだが、柏崎市の市民意識調査は女性を対象にした回答なのか、男性も女性も合わせたものなのか。

事務局 男性も女性も含めたものになる。

A委員 「平手で打つ」などは普通で考えればDVだと思うが、中にはDVにあたらないという方もいて、女性がそう思っているのか男性がそう思っているのか気になった。

事務局 男女別だと、「平手で打つ」がDVにあたらないという女性は1.7%、男性は2.4%、男性の方が若干多い。DVにあたるという女性は68.7%、男性は66.8%になっている。

A委員 DVにあたらないと思う方がどうしてそう思うのか聞きたいところだ。次回そういった意見も教えていただけると有り難い。

事務局 なぜこのように思うのか疑問だし、書いてもらう箇所があった方がいいと感じている。「げんこつで殴る、足で蹴る」は、DVにあたらないという女性は1.2%、男性は1.0%で女性が多い。DVの研修会などで啓発していきたい。

B委員 目次で、第2章の4、5は、本文との番号のずれがある。第4章も50ページではなく49ページか。

C委員 20ページのSDGsのロゴは、タイトルが横延ばしになっていて縦横比が変わっている。多分これは使ってはいけないと思う。

事務局：室長 正確に表示する。

C委員 34ページに柏崎市女性活躍推進計画が追加になっているが、目次では重点目標

6に柏崎市DV防止基本計画が書いてあるので、重点目標4にもこの計画が包括されていることを書き加えていただきたい。あわせて、表紙にもこの2つの計画が含まれていることを小さい字でも書いておいた方が分かりやすいと思う。

事務局 女性活躍推進計画は基本目標Ⅱが位置付けになるので、目次は重点目標4のところではなく、基本目標Ⅱのところに入れさせていただく。

D委員 グラフの並びは、38ページだけ男性女性で、他と並びが違い色合いも違うので統一していただければと思う。前回白黒でコピーをした時に色合いの濃淡だけだと分かりづらいという説明があったので、デザイン的にどうかと思った。

事務局 グラフの境が男女2種類くらいだったら分かるかもしれないが、3つあるようなところは分かりづらいかもしれない。

E委員 28ページのグラフはカラーでも分からない。

議長 印刷の専門家を交えながら、識別ができるようなデザインにしてもらいたい。

F委員 どうしても項目ごとで同系色でまとめたいか。

事務局 カラーで印刷する方向でいて、基本体系の青、緑、オレンジというように全体的にグラフも体系図も合わせて作ってある。

G委員 15ページのデータから見る柏崎のようなグラフの模様が出せばいい。

事務局 市民意識調査の報告書は、縦縞や横縞になっていて白黒でも見やすいので、この辺を参考にしたい。

H委員 基本的には白黒でも分かることを前提で作るといいと思う。

議長 基本目標ごとに青、緑、オレンジと色を分けた。メインはこうだが、せっかくフルカラーであれば中はいろいろな色を使い、最終的に白黒で印刷した時にも分かる方向でお願いしたい。

H委員 少しずつSDGsについて理解をしているつもりだが、一般の方はなじみがないと思うので、例えば20ページのように、指標のところにSDGsの課題を入れられるとより分かると思う。

事務局 SDGsの説明を資料として入れる。会長からもそのように言われていた。

議長 前回事務局からいただいた資料がもっと細かいので、一般の方には分かりやすいのではないかと。理解するにはもう少し解説がないとまだ弱い。

I委員 21ページの「醸成を図ります」、この言葉しかないという説明があったが、「意識を高める啓発を図ります」、「強化していきます」という文言だともう少し分かりやすい。

議長 「醸成」という言葉が残っているが、文章自体が分かりやすくなっているので、「醸成」をすんなり受け入れられる文章になってきている。

B委員 28ページの「男女の地位の平等感」のグラフも男女別で見たいと思うが、一緒がいいのか男女別の方がいいのか。

議長 アンケートで男女別もあるのでここに入れるか。ボリュームが多くなるが。

A委員 地位の平等感に関しては、男女の違いが分かった方がいいと思う。

G委員 現計画の50ページは数字で出ているので、これくらいのスペースだったらここに入る。逆にグラフよりも数字で分かるのかと思う。

事務局 スペースの問題だったら数字の方がいい。視覚的に分かりやすくということでグラフという形にした。

G委員 視覚的には数字の方が見やすいと思う。

議長 数値が高いところに少し色をつけたらどうか。

事務局 ダイジェスト版のようにグラフで入れるか、数字にするか。

石黒部長 男女ですごく違いがあるので、男女で出した方がいいと思う。「社会全体として」がいろいろなところで指標として使われるが、それだけを男女にするか、全体も男女にした方がいいか。

G委員 全部の項目で男女別に出した方が良いと思う。

事務局 ダイジェスト版の2ページ目のような形になる。

F委員 作る側の意図として、男女の差がこれだけあるということ示したいのであればそのようにしていただければいい。ただ、見る側の立場にしてみればそこまでどうなのか、見やすいことを一番にしてもらえればいい。数字だとエネルギーがいる。探さなければならない。その難儀さを考えればグラフの方が分かりやすい。

事務局 基本的にはグラフと思っている。ここだけ数字というのも統一感がなくなる。男女という形であれば、スペース的には28ページの中では収まらないので、グラフは29ページに移して、スペースができればコラム的なものを入れていけばいいと思う。

議長 次に、22ページの計画の基本目標で、重点施策についての提案があるので事務局から説明いただきたい。

事務局 2点御審議をいただきたい。1点目は、これからの男女共同参画の施策で何を重点的に推進し、何を目指していくのかというところで内部から話が上がり、目標のようなものを明確な形で表現した方がいいのではないかということになった。

 次期計画では、基本目標Ⅱに女性活躍推進計画が策定されるのが最大の特徴で注目のポイントになる。その中でも男性の育休取得割合が全国的にも低く、この割合を上げていこうという流れになっていて、報道でも取り上げられることが多くなっている。次の計画の5年間では、男性の育休取得割合を13%、それを重点的に目指していくというのが目玉になると考えている。

 この計画の中で、見える形の一例を22ページで提案をさせていただいている。「女性が活躍できる基盤づくり」のところで推し進めていくことが分かり、重点施策という形で施策の方向10番を取り出して説明をしていく形になる。

 他にも、23ページの表の下で重点プロジェクトというように取り出していく形、施策の方向10番の後ろに括弧書きにして見える形にするという案も考えたが、一番目立つのが22ページだ。39ページの一番上に重点施策としたのも一つの案だ。それについて議論いただきたい。

2点目は、この形にすると、基本目標Ⅱだけに重点的な施策があり、そこに違和感がある。さらに育休取得を進めるには、働き方改革、会社の後押しや理解支援、職場の人たちの理解が同時に必要だし、家庭での男性の家事や育児のスキルアップも同時に関係してくる部分だ。それが施策の方向11、12、13番であり、限定的に取り組むものを取り上げると、関連しているものが下にぶら下がっているような形に見えてしまうというデメリットも見えてきた。こういう形で出すのがいいのか御意見をいただきたい。

J 委員

22ページを見た時に、重点施策がこう書いてあることに違和感があつた。22ページと23ページがバランスが取れていた方がいいと思う。強調するのであれば、23ページの施策の方向10番のところに重点施策などにして、少し文字を大きくして強調するようにした方がいいと思う。基本目標Ⅱにしか重点施策がない違和感もある。基本目標ⅠとⅢにもあるのではないか。今のプランで重点施策をやってきて解決したことになっているのかと思った。

F 委員

柏崎市としてここを重点施策にする根拠が見えてくるといい。あえて重点施策とする意図を明記した方がいい。見せ方では23、33、39ページの重点施策と書いてあるところを違う色にする。読み手はペラペラッと見て終わりがちなので、ここを強調したいのだということが分かれると意識も変わってくると思う。ある程度これでいくというところを強調していくのも手段だと思う。

議長

そうすると、最初の文章から作り替えていかないと整合性が取れない。ピンポイントで一つだけ突出させるには、その説明が必要だ。先ほどこれを重点目標にする背景について話があつたがそれも重要だ。

C 委員

この重点目標に関連してだが、22ページに男性の育休取得率13%を目指しますとあり、現状何パーセントだろうと思い事業所アンケートを見たら7.9%だ。そうすると、男性が何人育休を取れば13%になるのかを想像してこの数字を見た。柏崎市の出生者数が500人弱、この事業所アンケートを見ると回答が女性従業員、男性従業員別なので、一人の出生数が両方にカウントされている場合もあるかもしれない。取得者が女性従業員78人と男性従業員114人で200人弱位。母数からして職場環境が違ふとか、2人とも働いていない方もいるかもしれない。本当の母数からすると半分くらいしかカウントされていない。実情が捉えられているか分からない数字を最重点にピックアップするのに違和感があると思う。

少なくとも何人くらい取得しなければならないか分かっていないと、重点目標と書かれてもピンとこない気がする。そこまで書いて抜き出すか。4、5人とか小さい数字になってしまうのであれば、そこまでのことでもないような気がする。

目立たせるのであれば、例えば23ページの一覧のところにシールが貼っているような、目立つようなものを加える、そういうものでもいいと思う。

議長

今までやってきた男女共同参画は間口が広く複雑に絡み合っていて、認識がバラバラで進まなかったから、見え方や考え方を変えたいというのもあると思う。

J 委員

女性が働き続ける、活躍するためには、男性の協力あつてのこと。なぜ重点施策にしているかは分かる。たくさんあつてもなかなかできないのでこれをやりましょうということであれば、それはそれでいいと思う。ただ何でそれが大事なのか、どうしてもこれが必要だということが分かる文章だと入っていきやすい。これだけだと、何で男性の育児休業なんだという感じに捉えられてしまう。男性が協力してくれないと女性が働き続けられないから、これをやりましょうという柏崎市の意図をうまく表現できるようにすればいいと思う。

議長

男性が育休を取得したが実態はどうかというところがある。女性が男性にやってもらいたいこととのマッチングができていない。それを飛び越えて国が男性を休ませるという具体策に走っているが、その間がしっかりしていない段階だと思う。数字が伸びたところで本当の期待度は補いきれない。それをなんとかして文章化していこうということだが、あまり見える化しすぎると誤解を招く。方向は間違っていない。22ページの緑色の文章をもう少し分かりやすく、今言っていたことをコンパクトに盛り込まれるような文章にしてほしい。

E 委員
事務局

もう一度、市がここをピックアップした理由を聞かせていただきたい。

これからの男女共同参画を重点的に推し進めていく部分がどういうところなのかということで、基本目標の「女性が活躍できる基盤づくり」である女性活躍を推進するということを、この計画の体系を作る段階から一番上に持ってきたらいいのではという議論をさせてもらっている。これからの5年間で一つの大きな道にしたいと考えている。その中でも重点目標にあるワーク・ライフ・バランス、男性中心の働き方、男性の家事への参画の少なさ、これらの解消が実現できることによって、女性が活躍できる基盤が出来上がる。

それにはどこを起点にして、他の施策を巻き込み、関連してやっていくかということ考えた時に、施策としては男性の育児休業の取得率だ。この数字を押し上げるには、ワーク・ライフ・バランス、男性の働き方、家事育児のスキル、子育て支援の体制などを同時に押し上げていき、最終的に基本目標の女性活躍の基盤に持っていきたいということで、男性の育休を重点的にやっていくという考え方だ。

事務局

市の職員でもこの2、3年間男性の育児休業取得者は0人だ。女性が活躍できる職場づくりには男性の協力が不可欠で、昨年度、3歳未満の子どもを持つ男女の職員を対象に、男性が育児休業を取得できる方策や、ワーク・ライフ・バランスを実現するために組織として協力すべきことを話し合ってもらう研修会を行った。男性職員からは、育児休業は取得したいが、自分が休むことによって周りの職員に迷惑が掛かるようであれば、制度の利用をためらうという発言が何人かからあった。これを受けて、今年度若手職員の直属の上司である係長や課長代理を対象に、研修会を行うこととしている。その研修では、育児休業制度を利用するために、周りの職員が協力すべきことについて考えてもらう機会を設けて、男性の育児休業の取得を促して、女性が少しでも働きやすい職場づくりにつなげていければいいと計画をし

ている。また、男性職員が気にする収入面は共済組合からも支給されるので、提示しながら男性が安心して休業できるように環境を整えて、働きやすい職場づくりを考えている。

E 委員 ということは、出産時に男性が休む、女性は休まずに仕事をするという考え方か。
事務局 そういうことではない。家庭での仕事を共有し女性の負担を減らしていく。

E 委員 家庭での協力は理解できるが、それとイコール職場でのというところのつながりが無理やりという気がする。男性が休むことによって女性が職場で働きやすくなるというところが直結するのか。

事務局 女性が職場復帰をためらう理由に、自分が子育てをしなくてはという意識がある。育児に男性が入っていくと、当然男性にも自分が関わらなければならないという責任感が出てくる。男性が家事育児に参画することがスタンダードになっていけば、女性も安心して職場に復帰できるという意識が高まってくるというところが女性活躍にもつながってくるので、女性の意識改革として女性活躍推進の理由となる。

E 委員 40 ページの 12「家庭生活における男女共同参画の意識づくり」、ここに書いてあることがまさにこのとおりでと思う。男性が仕事を休んで家事育児を手伝う、女性の負担を減らしていく、そうすることによって女性の復帰がしやすくなるかどうか、そこをつなげていいのか。育児や家事を一緒にやりましょうということはすごくいいことだと思うので目標から外す必要はないと思うが、男性が育児を手伝ったら女性の復帰が早くなるというところがはっきりしていて、そうすれば女性ももっと復帰が早くなる、復帰がしやすくなるなら重点施策で出してもいいと思う。

計画としては、重点という文字が増えるほどぼけてしまう。それでもやっぱり重点施策としてやりたいのであれば、重点施策という文字を入れるだけでは弱いので、ビジュアル的にはっきりさせないと弱い。

議長 基本目標Ⅱを浮き立たせたいところだ。

E 委員 柏崎市としてこの施策を 5 年間、本当に力を入れてやっていくのであれば私たちが反対することではない。もっと強調してもいいと思う。時代の流れで入れたのなら、皆さんが言っているようにここだけ抜き出した違和感があるので、表現の仕方を変えてもいいのかと思う。

事務局 非常に貴重なご意見をたくさんいただいたので、どのようにするかは、事務局で検討していきたい。

議長 せっかく提示していただいた 22 ページの重点施策をいかすのか、不要になるのかということだ。

G 委員 デザイン的な見た目に関しては、皆さんおっしゃるように、ここだけ違和感があるので、もし文章を入れて重点目標だということにすれば、文章自体を赤にしたり見た目の工夫をしたらどうか。

議長 もう少し違う場所に重点目標を置いて、39 ページをもっと強調したり、最初の 5 年計画の最大の目的は何かという趣旨を強調して作り直して入れ込むとかどうか。

G 委員 22 ページのデザインに関して、重点施策を入れるか入れないか皆さんの御意見を聞いて、あとは事務局にお任せする。

議長 重点施策の内容は、もう少し黒字と赤字を盛り込みながらしっかりした文章にさせていただきたいと思う。そしてこれを削除して、別のところに強調するかこのままにするか、今ここでどちらかを選んでいただければと思う。御提案どおり 22 ページの重点施策を残していいと考えられる方、挙手をお願いしたい。

(挙手の結果・・・0 人)

E 委員 先ほど説明いただいた内容が、どこかにあるとつながると思う

事務局 基本目標Ⅱのところの説明を、今、御意見をいただいたように、ここを推していくんだという意思の表れなどを、女性活躍につながるということが分かるような表現にした形で考えたい。

事務局：室長 39 ページも変えるような形がいいか。

議長 これを変えることも検討の課題にさせていただきたい。

F 委員 33 ページも何らかの形でここの中に入る。

議長 全体を通して微調整して、強調したがための整合性を取っていかなければならない。

J 委員 宣誓をするのであれば、23 ページの裏が白紙になっているので、分かりやすい文章で有効活用してもらいたい。

議長 22 ページと 23 ページはセットで見開きの方が理解がしやすい。今日の審議会の意見を基に最終修正に入るので、今、御意見をいただいた方がいい。帰ってから気付いたことは速やかに事務局に伝えていただきたい。

B 委員 12 ページ重点目標 9 の目標値が、平成 29 年と令和 2 年とここに限って 2 つあるのはなぜか。

事務局 計画を作った時の目標値が、障害福祉計画で 3 年計画だ。平成 29 年で 3 年が終わり、次に令和 2 年までの 3 年間という目標が立てられたので、目標値が 2 つになっている。

議長 何か別の数字に置き換えればいいのかと思うが、数字を出すのが難しいのだろう。

事務局 目標値が 2 つあるのは分かりにくい。削除する方向で考えたい。

D 委員 47 ページ、重点目標 8 「困難を抱える人が安心して暮らせる環境整備」の現状と課題のところで、文章と障害者の就労の指標がつかないと感じた。ここにひとり親関係の指標を追加検討中となっているが、ここもつながりが分かりにくいと思った。

事務局 指標にかかる部分の課題が見えにくい表現になっているので、障害のある人の一般就労する場所であったり、定着に結びつかないことが経済的困難を招いているということを、課題のところで表現をしたいと思う。

(事務局より当日資料「第 4 章 計画の推進」について説明)

事務局 今日お配りした資料では、審議会と市民との関わりが繋がっているということ

が表現できるように修正させていただいた。

- 議長 右側の矢印は連携とか協働が入っていないが、入れないでいいのか。入れるものがあるのか。団体同士は間接連携はあると思うが、直接連携はないのか。
- 事務局 審議会は市民の方、団体の方から集まって構成されているというつながりがある。
- E 委員 審議会が市民団体で構成されているということであればイコールだ。
- G 委員 ここで出たことを職場等に帰って話したりすることも考えると、矢印でいいのかと思う。現計画は矢印になっている。
- E 委員 現計画の方が分かりやすい。
- F 委員 組織は四角でもいいが、市民は丸い方がイメージ的にいいと思う。
- 議長 現計画の上の条例と、計画の二つの四角をどうするか。
- 事務局 これは条例に基づいて計画ができているという視覚的なものだ。
- G 委員 現計画の全体を 50 ページに入れたらどうか。
- 事務局 条例と計画と女性活躍とDVを入れた方がいいか。
- 議長 ここに入るかチャレンジしてもらって、無理ならどこかで入れていただきたい。
- 事務局 そのような形で修正する。

5 その他

・次回審議会の日程について

- 事務局 今日いただいた御意見を踏まえた形で修正し、議事録と一緒にお送りするので確認をしていただきたい。次回の審議会が2月なので、適宜語御意見を承りたいと思うのでお寄せいただきたい。個別にいただいた御意見は皆さんで共有しながら修正をさせていただきたい。それを2週間以内にお寄せいただき、12月上旬に市の部課長からなる庁内推進会議に報告をして意見をもらう予定になっている。その後、12月議会の総務常任委員協議会に報告をして、パブリックコメントを12月21日から1月20日に行う。意見が出てきたら修正を検討して、最終的に2月の第4回審議会にお諮りをする。2月の審議会については2月12日の午後3時から会議室を抑えてある。年明けに御都合を伺い、皆さんからお集まりいただける日程を選ばせていただきたい。その日に御都合をつけていただければ有り難い。

6 閉会あいさつ（副会長）